

呼吸同期

目指す生徒像

- 1 自ら学ぶ生徒
- 2 心豊かな生徒
- 3 たくましい生徒
- 4 視野の広い生徒

緑の葉が日差しを受けて、きらきらと輝く季節となりました。夏を思わせるような日も多く、5月1日からクールビズを実施しています。気温や体調に応じて、服装の調整をお願いします。

5月29日(土)の体育祭に向けて、準備を進めています。感染予防に万全を期し、健康管理もしっかりと行いながら、練習等に取り組んでまいります。体育祭の見学については、心苦しい限りではありますが、今年度も3年生の保護者の皆様に限らせていただきます。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。修学旅行についても、今のところ計画通り実施する予定で準備を進めております。できない理由を探すのではなく、どうしたらできるか、知恵を出し合い、工夫を凝らしていきたいと思います。ただ、栃木県・北海道の状況によっては、生徒の安全・安心を第一とし、対応を判断させていただくつもりです。よろしくお願いいたします。



<見事なバラが咲きました>

待ちに待った!! 宇河地区春季大会開催

昨年はすべて中止となってしまった部活動の大会ですが、今年度は、5月7日(金)から、宇河春季大会をたくさんの方々のご協力により、実施することができました。2週間前からの健康観察票の提出や、選手・監督以外の入場制限など、各部で感染対策を十分に行いながらの実施となりました。制限付きとはいえ、開催できたことを何よりうれしく思います。保護者の皆様には、送迎など物心両面にわたるご協力をありがとうございました。おかげさまで、各部の素晴らしい活躍を見ることができました。



さらに、うれしかったのは、勝ち負けに関係なく、「今後の課題をしっかりとつかむことができた。次につながる試合だった。」と語ってくれた部が複数あったことです。「経験から学び前を向く」ことこそ、挑戦であり、レジリエンス(折れない心作り)です。今後の活躍を心から応援しています!

「応援される人」になろう



5月19日(水)の全校朝会で「自分の挑戦を成功させるためには、どうすればいいか」と次のように話しました。

その方法の一つは、「応援される人になる」ことです。

春季大会やこれまでの経験を思い出してみてください。自分が前に進みたいけれど、心折れそうな時「大丈夫!」「がんばれ!」と、背中を押す言葉や思いは、大きな支えになったはず。自分の頑張りや挑戦を応援し

てもらえる人になることが成功に近づくための、はじめの一步となると思います。「応援される人」とは、どんな人だと思いますか。一例をあげてみると…

- ① 誰かを真剣に応援する人→応援されたらお返しをしたくなる。
- ② 感謝を伝えることを忘れず、いつも「おかげさま」の気持ちで、あいさつする人→応援が届いていると実感でき、うれしくなって、もっと応援したくなる。
- ③ 他の人の良いところを認めて、そこから学ぶ人→伸びたい、成長したいと取り組む姿に感動し、もっと応援したくなる。

この他にも、一人一人が、自分なりの「応援される人」になる方法を考え、実践し、自分の挑戦を成功させてほしいと思っています。

「応援される人」になるには

- ・まずは、自分が「誰か」の応援をしよう
- ・「感謝」の気持ちを伝えよう
- ・「学ぼうとする気持ち」を忘れない



学校生活を気持ちよく ～いじめゼロ強調月間・みんなであいさつ～



5月は、いじめゼロ強調月間です。5月12日(水)の生徒会朝会で、生徒会長:庄司葵さんから全校生徒に向けて「一人一人が輝ける学校を目指し、軽率な行動で、誰かの大切な輝きを失うことがないように、若松原中では、絶対に『いじめは許さない』という強い決意をもって生活していきましょう。」との呼びかけがありました。学校全体でいじめゼロに向けて取り組

んでおります。もし困ったことや悩みごとなどで辛くなったら、一人で抱え込まず、遠慮なくご相談ください。

さらに、生徒会主催のWGS あいさつ運動を5月13日(木)に行いました。よりよい人間関係づくりは、気持ちのよいあいさつから始まります。コロナ禍で、大きな声がはばかれる昨今ですが、にこやかな笑顔で声の大きさを補って、素敵なあいさつを交わし合いたいと思います。

タブレットの持ち帰りもこれで安心

40周年の記念品として、実行委員の皆様のお骨折りのおかげで、タブレットの持ち帰り等に使う「保護ケース」と「手提げ袋」を作っていただきました。教室移動の持ち運びにも便利で、どんどん使用機会を増やしていけそうです。手提げ袋には、若松原中学校の校章と40周年のロゴ入りで、とても素敵な仕上がりです。



お願い



- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、手洗い、うがい、検温等引き続きご協力をお願いいたします。発熱等の風症状がある際は、無理せず家庭での休養をおねがいします。
- ・タブレットを、40周年の記念品として用意していただいたケースに入れて、5月20日に持ち帰る予定です。オフラインでの課題を設定しておりますので、ぜひ、ご家庭で一緒に操作をしてみてください。